

令和8年度東北中学校体育大会

第56回東北中学校バスケットボール大会要項

- 1 目 的 この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身共に健康な中学校生徒を育成するとともに、東北の中学校生徒相互の親睦を図るものである。
- 2 主 催 東北中学校体育連盟 東北バスケットボール協会 青森県教育委員会
弘前市教育委員会 平川市教育委員会
- 3 後 援 東北地区中学校長会 青森県中学校長会 岩手県教育委員会 宮城県教育委員会
秋田県教育委員会 山形県教育委員会 福島県教育委員会
(公財)青森県スポーツ協会 (公財)弘前市スポーツ協会
NPO法人平川市スポーツ協会 弘前市 平川市
青森放送 NHK青森放送局 青森朝日放送 青森テレビ 東奥日報社
陸奥新報社 デーリー東北新聞社 共同通信社仙台支社
- 4 主 管 青森県中学校体育連盟 (一財)青森県バスケットボール協会
中南地区中学校体育連盟
- 5 会 期 令和8年8月9日(日)～10日(月)
【日程】
8月9日(日) 9:30 競 技 青森県武道館
ひらかわドリームアリーナ
8月10日(月) 9:30 競 技 青森県武道館
競技終了後 表彰式 青森県武道館
- 6 会 場 青森県武道館(8月9日、8月10日)
〒036-8101 青森県弘前市豊田2丁目3番地 TEL:0172-26-2200
ひらかわドリームアリーナ(8月9日)
〒036-1114 青森県平川市町居字南田249番地 TEL:0172-26-6467
- 7 参加資格 (1)学校教育法第1条に定める中学校※に在籍し、各県中学校体育連盟加盟校に在籍する生徒で、競技要項により大会参加資格を得、校長が参加を認めた者。
※本連盟では、「中学校」とは中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の中学部とする。
(2)同一年度内の参加者は、全種目を通じて一人1種目とする。
(3)チーム編成は学校単位とするが、団体種目において単独チーム編成困難校については、「救済措置」の趣旨から別紙「合同チーム参加細則」に基づき複数校合同チームの参加特例を認める。
(4)拠点校部活動の参加
現行の(公財)日本中学校体育連盟「全国中学校体育大会拠点校部活動参加規程」の範囲内を原則とし、各県中学校体育連盟に承認され、東北大会出場権を得たチームについては参加を認める。
(5)単独チーム編成困難校又は複数校合同チームと拠点校部活動における同一チームでの参加
現行の東北中学校体育連盟「東北中学校体育大会合同チーム参加細則」及び(公財)日本中学校体育連盟「全国中学校体育大会拠点校部活動参加規程」に則っていることを条件に、各県中学校体育連盟、同専門部、事業主体の連携した判断により、単独チーム編成困難校又は複数校合同チームと拠点校部活動を合わせた形での参加を認める。
(6)過年齢生徒の参加については、体力的、技術的要因が大きく関わると考え、満16歳に達する年度まで出場できるものとする。
(7)参加チーム及び選手は、(公財)日本バスケットボール協会に登録するチーム及び選手とする。
(8)参加資格の特例(各種学校等)
①学校教育法第134条の各種学校(1条校以外)に在籍し、各県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
②参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
ア 東北大会の参加を認める条件

- (ア) 東北中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
- (イ) 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
- (ウ) 参加を希望する学校は、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。

イ 東北大会に参加した場合に守るべき条件

- (ア) 東北大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - (イ) 東北大会参加に際しては、責任ある当該校校長・教員・部活動指導員が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
 - (ウ) 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。
- (9) 参加資格の特例（地域クラブ活動に所属する中学生）※認定地域クラブ活動を含む
- ①地域クラブ活動に所属し、各県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
 - ②東北大会に参加を希望する地域クラブ活動は、以下の条件を具備すること。
 - ア 東北大会の参加を認める条件
 - (ア) 東北中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - (イ) 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している（中学校に在籍している生徒であること）。
 - (ウ) 地域クラブ活動にあつては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。
 - (エ) 『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン』（令和4年12月27日スポーツ庁・文化庁）の「Ⅱ 新たな地域クラブ活動」及び『部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン』（令和7年12月文部科学省）を遵守していること。
 - (オ) 当該競技を管轄する中央競技団体もしくは各県競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で各県中学校体育連盟に登録していること。
 - (カ) 令和8年度地域クラブ活動の出場に関しては、以下の場合の出場を認める。なお、団体が大会参加を希望する場合には、県中学校体育連盟及び県中学校体育連盟連バスケットボール専門部が条件を満たしているか協議の上、参加を認める。

【出場を認めるスポーツ団体】

地域展開モデル地区や自治体主体で地域移行を進めるために設置されている、地域展開の受け皿となっている地域クラブ活動

ただし、対象の地域クラブ活動は単独又は複数の中学校単位で編成されており、日常的に活動が持続されている場合に限る。なお、複数の中学校から選手を選抜し、編成された地域クラブ活動の出場は認めない。

- (キ) 各県における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。
- (ク) 地域クラブ活動で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。

イ 東北大会に参加した場合に守るべき条件

- (ア) 東北大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- (イ) 東北大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任ある代表（指導）者が生徒を引率・監督すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
- (ウ) 東北大会開催に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。
- (エ) 団体競技（種目）における地域クラブ活動名での出場は1チームのみとする（複数のチームの参加はできない）。

ウ チーム編成の条件（東北中体連独自の取決め）

団体競技（種目）に参加する際は、同一県内中学校に在籍する選手でチームを編成することとし、県境を越えたチーム編成は認めない。

エ 参加を認めない場合

本大会参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。

※1 この特例は、令和5年4月1日より適用する。

※2 上記特例については、専門部ごとに大会参加に関する細則を加えることができる。

※3 上記特例については、今後も検討を続けていく。

- 8 引率者及び監督等** (1) 学校においては、引率責任者及び監督は出場校の校長・教員(非常勤は除く)・部活動指導員とする。ただし、部活動指導員は教育委員会設置要綱のもと、以下の条件を満たしていなければならない。また、中学校体育連盟が主催する大会(予選を含む)で登録できる学校は1校のみであること。
- ① 満20歳以上であること。
 - ② 主催者からの要望があった場合、大会運営に協力する姿勢があること。
 - ③ 次のいずれかにあてはまる者とする。
 - ア 教育職員免許法に基づく免許を有する者。
 - イ (公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格を有する者。
 - ウ 自治体(含む教育委員会)、体育(スポーツ)協会、中学校体育連盟のいずれかが主催する研修会を受講している者。
- ※ここでの「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者であり、学校設置者に任用されている者をいう。
- (2) 外部・校外コーチは、校長が認めた者とする。ただし、中学校教職員・校長・部活動指導員が他校の外部・校外コーチとしてベンチに入することは認めない。マネージャーは出場校の教員、部活動指導員、又は生徒とする。また、同一人物が複数校の外部・校外コーチにはなれない。
- ※外部コーチ…校長が学校部活動の指導者として承認した者で、日常的に学校部活動の指導に当たっている者。
- ※校外コーチ…クラブ・道場などの指導にあたっている者。
- (3) その他の団体においては、同一競技内において、中学校体育連盟が主催する大会(予選を含む)で監督、コーチとして登録できるチームは1校(チーム)のみであること。
- (4) 本大会に出場するチーム・選手の引率者・監督・コーチ・トレーナー等は、運動部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。また、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。また、地域クラブ活動においても指導者に暴力等がないことを代表者が確認して、大会申込書を作成すること。何らかの形で虚偽や暴力等の事実が判明した場合は参加を認めない。
- (5) コーチ確認書(校長承認書)の提出については、専門部の申し合わせ事項による。
- (6) 学校において、引率・監督について東北大会開催基準や同引率細則にあてはまらない状況がある場合は、所属県中学校体育連盟が大会実行委員会へ相談すること。
- 9 参加数** (1) 各県男女2チーム
- (2) チーム編成は、引率責任者1名、コーチ1名、Aコーチ1名、マネージャー1名、選手15名、計19名以内とする。
- ※監督については、出場校の校長、教員又は部活動指導員とし、コーチ、Aコーチ、マネージャーの中から兼務登録すること。又、ベンチに入れる外部指導者は1名とする。
- ※試合で指揮をとる指導者は、(公財)日本バスケットボール協会コーチライセンスを保有していること。
- 10 競技規則** (1) 現行の(公財)日本バスケットボール協会競技規則による。
- (2) 本大会は「マンツーマンディフェンスの基準規則」に則って運営し、試合におけるマンツーマンディフェンス/ゾーンディフェンスの判定は、大会主催者が任命したマンツーマンコミッショナーが行うこととする。
- 11 競技方法** (1) 8月9日(日) 予選リーグ(男女とも3チーム4ブロック)
- (2) 8月10日(月) 決勝トーナメント(各ブロック代表1チーム)
- (3) 組合せについては、東北バスケットボール協会の組合せ規定に基づき、東北中学校バスケットボール専門部が責任抽選をする。決定次第、出場チームに通知する。

12 表 彰 男女とも第3位まで表彰する。

- 13 参加料 (1) 参加選手一人 2,000 円とする(選手のみ、マネージャーは含まない)。
(2) 参加申込後の出場辞退や欠場の場合における参加料の返金は行わない。
(3) 参加料・プログラム料(申込分)の納入については、下記の口座に振り込むこと。なお、振込手数料は参加チームの負担とし、振込期限は、7月31日(金)とする。

振込先

【店 名】三菱 UFJ 銀行 【支 店】新東京支店
【預金種目】普通 【口座番号】3 3 1 8 6 6 4
【名 称】メイテツカンコウサービス(カ)

- 14 参加申込 (1) 別紙参加申込書に必要事項を記入の上、下記に申し込むこと。
(2) 校長(責任者)の署名押印した原本をPDF化(ただし、フルカラー300dpi 以上に限る)したもの、下記申込先に電子メールで送信すること。
(3) プログラム作成の都合上、各県の大会終了後速やかに電子メールで申し込み、集合写真(登録選手だけでなく、ベンチスタッフも一緒に写っているもの。ユニフォーム着用。保存容量は3M以上とし、5M以上を推奨。逆光を避ける。)の添付も忘れずに行うこと。
(4) 学校において教員以外がベンチ入りする場合は、申し込み時に所定の「外部コーチ確認書(校長承認書)」を送信すること。
(5) 申込締切 令和8年7月27日(月)13:00 必着

<申込送信先>第56回東北中学校バスケットボール大会事務局
担当 山形 紀雄 (青森県中体連バスケットボール専門部委員長)
TEL: 0172-32-2361
E-mail: nori-yama@hirosaki.ed.jp

- 15 諸 会 議 (1) 組合せ抽選会 日時: 令和8年7月28日(火) 13:00 Web 会議
(2) 東北六県委員長会議 日時: 令和8年8月4日(火) 13:00 Web 会議
(3) 監 督 会 議 日時: 令和8年8月4日(火) 15:00 Web 会議
※諸会議の詳細は、事務局より後日メールにて連絡する。

16 宿 泊 宿泊要項は別紙とする。大会出場者(引率・監督・コーチ・選手・マネージャー)の宿泊については、必ず宿泊要項にある指定業者を通して申し込むこと。

- 17 そ の 他 (1) ユニフォームは0番から99番までの番号で濃淡(淡色は白とする)2着用すること。
(2) 使用球は、(公財)日本バスケットボール協会規定による検定6号球(女子)、7号球(男子)革製とする。
(3) 全国大会へは、東北地区代表として男女各2チームが出場する。
(4) 東北大会に出場チームは、全国大会の参加申込関係書類を作成し、東北大会当日の受付で提出すること。発送については、大会事務局で責任を持って行う。
(5) 大会期間中の負傷・疾病については、応急処置のみ実施する。学校においては、独立行政法人日本スポーツ振興センターの定めを適用し、地域クラブ活動においては、当該クラブ代表者の責任のもと加入している傷害保険等の定めを適用する。なお、大会参加者は、健康保険証(マイナンバーカード等)を持参することが望ましい。
(6) 申込に使用する漢字は、原則として常用漢字・人名用漢字とし、プログラム掲載も同様とする。ただし、それ以外の漢字の使用を特に希望する場合は実行委員会へ相談すること。
(7) 東北中学校体育連盟では、申込書に記載する、選手氏名・学校名・学年等の情報は本大会プログラムへ掲載し広く公表するとともに、大会結果集約に利用する。また、成績については報道発表並びにホームページに掲載する。申込書に記載する情報の利用について、同意が得られない等、事情がある場合は、各県中学校体育連盟を通して東北中学校体育連盟及び開催県実行委員会と連絡をとり、適切に対処する。特に申し出がない場合は上記内容を承諾したものとする。
(8) 観戦者における競技会場内、又は応援席や駐車場等、会場周辺の事故、破損等については、大会主催者や施設管理者は一切責任を負わない。一切の事故は自己責任であることを理解した上で観戦するものとする。
※「会場周辺の事故」には、競技中のボール等の用具が車や人に直撃した場合や、風や雪、

- 雷等、天候の影響で起こった場合も含む。
- (9) 自然災害や感染症等により、大会が実施されなかった際の全国大会出場校（チーム）の決定方法については別に定める。
- (10) 自然災害等により、緊急的な対応が想定される場合の連絡手段は、大会HPを用いて行う。大会HPのURLは、後日大会事務局より出場チームに連絡する。

18 連絡先

大会全般・競技に関する問い合わせ（大会事務局）

東北中学校バスケットボール大会事務局 〒036-8154 青森県弘前市豊原1丁目3の3 弘前市立第三中学校 担当 山形 紀雄（青森県中学校体育連盟 バスケットボール専門部委員長） TEL:0172-32-2361 FAX:0172-32-2362 E-mail: nori-yama@hirosaki.ed.jp
--

- ※1 問い合わせは必ず各県中学校体育連盟バスケットボール専門部委員長を通して行うこと（出場するチームや保護者が、個々に問い合わせをしない）。
- ※2 緊急時以外は、メールで問い合わせること。